うたづ

議会だより

2007 第23号

2007. 8. 1

七夕まつり（幼稚園）

Contents

平成19年第２回定例会 ……2～3
一般質問 ……4～8
日曜議会アンケート調査報告 ……8
研修報告 ……9
議会日誌・編集後記 ……10

うたづ議会だより

電子メール：gikai@town.utazu.kagawa.jp

発　　行：宇多津町議会

〒769-0292 香川県綾歌郡宇多津町1881

☎ (0877) 49-8014

編　　集：議会広報特別委員会

平成19年　第２回定例会

平成19年 第２回定例会

主な内容

○平成十八年度宇多津町一般会計繰越明許費繰越計算書など三件を承認
○平成十九年度宇多津町一般会計補正予算（第一号）を可決
○平成十九年度宇多津町国民健康保険特別会計補正予算（第一号）を可決
○平成十九年度坂下墓地整備事業特別会計予算を可決
○平成十九年度水槽付ポンプ自動車購入に伴う契約の締結
○平成十九年度公共下水道第三処理分区汚水管渠築造工事請負契約の締結
○臨海公園等再編整備特別委員会設置を可決
○防災対策特別委員会設置を可決
○暴走族対策強化に関する請願を採択

平成十九年第二回定例会は六月七日から六月十三日まで開催され、承認三件、議案七件、発議三件、請願一件をすべて可決しました。また一般質問を日曜日に行う「日曜議会」を開催しました。一般質問には九人が登壇し「選挙投票所の設置基準の見直し」「保育所民営化の状況」「中学校旧体育館の使用」「投票率向上の対策」「デマンド交通システムの導入」「宇多津交番の移転」「コンパクトシティ宇多津の実現に向けて」「町営墓地予定地反対の請願」などについて活発な議論が交わされました。

日曜議会で熱心に聞き入る傍聴者

議案

平成19年度宇多津町一般会計補正予算（第１号）

補　正　額　　９，３４２万円

補正後の総額　５３億６，４４２万円

（内訳）　（単位：千円）

歳　入	補　正　額
国庫支出金	6,281
県支出金	189
繰越金	86,950
歳入合計	93,420

（内訳）　（単位：千円）

歳　出	補　正　額
総務費	19,808
民生費	40,716
衛生費	15,667
商工費	10,010
土木費	6420
消防費	609
教育費	190
歳出合計	93,420

特別会計補正予算　（単位：千円）

名　称	補　正　額	総　額
宇多津町国民健康保険特別会計	30,870	1,336,665
宇多津町坂下墓地整備事業特別会計	14,400	14,400

特別委員会が設置されました

●臨海公園等再編整備特別委員会（定数５人）◎委員長　○副委員長

◎藍川佳津樹　○池田　弘昌　西本　弘子　谷川　俊博　香川　虎生

〈委員会の任務〉

住民のニーズに合った景観を活かした住民の憩いの空間としての臨海公園等整備と周辺の交通体系整備の諸問題等を総合的に調査検討し、その結果を報告する。

●防災対策特別委員会（定数５人）◎委員長　○副委員長

◎宮本　　隆　○大松喜次郎　平田　弘次　青木　義勝　井原　猛雄

〈委員会の任務〉

大束川と鴨田川の洪水時災害のないまちづくりのために諸問題を総合的に調査検討し、その結果を報告する。

一般質問 Q&A

選挙投票所の設置基準の見直しとゴミの減量化、分別資源化ついて

平田弘次 議員

Q 町内に8ヶ所ある選挙投票所の利便性の向上を図ると共に設置場所の再編を考えてみてはどうか。

A 谷川町長

投票所のあり方については、抜本的に見直さなければならないと考えております。御指摘を一つの契機として、過去の御指摘も踏まえながら、第八投票所の有権者の増も考慮し、投票所の設置数なども含め、選挙管理委員会とも協議しつつ、幅広く有権者のご参加をいただいて、委員を選定し、これらを検討する委員会を立ち上げたいと思っています。その議論を踏まえ、具体的な処置をしてまいりたいと考えております。

Q 町内の可燃及び不燃ゴミの排出量は、有料化以降、減少しつつあるのか、また各資源ごみは収集後、どのような形になりリサイクルされているのか。

A 西山住民生活課長

ゴミの排出量は有料化実施以前と比べてどのくらい減少しているのか、また、今後の排出量の見通しはどうかという点ですが、家庭系のゴミですと平成十八年度で五、一一ニトン出ております。十六年度と比較すると約七%、十七年度と比較すると三・六%減少しています。今後、人口増、それからゴミの有料化についてはリバウンド現象が起こるとよく言われます。そういった事により減少幅が鈍化傾向になるのではと危惧されますが、一層啓発活動を続け、減量化を維持していきたいと考えております。

また、収集後どのような形になりリサイクルされるのかということですが、折に触れ広報等でお知らせし、リサイクルについて理解を深めていただくよう努めていきたいと思っています。なお、町は中間処理施設を持っていませんから、即日で処理をしていくという要件が生じますので、各資源ゴミの処分会社を近隣の会社の中から、適切な処理方法をしていること、排出先の確認、価格等を考慮して選定しています。

保育所民営化の状況について

宮本　隆 議員

Q 民営化検討委員会は設置されましたか。設置したのならどのような委員会運営を行ないますか。また委員の人数メンバー構成はどのようになっていますか。

保護者から説明等が分かりにくいと聞きます。その事により誤った情報や誤解、混乱が生じ不安な事が有るように聞きます。

現在の状況、また委員会開催後は必ず報告を含めての状況説明会を予定してはどうでしょうか。

A 谷川町長

国の地方分権の推進の一環で三位一体の改革が推進されています。その一つに補助金の削減が入っています。公立保育所に対しては平成十六年度から措置費が一般財源化されましたが、民間保育園に対しては従来どおり国から措置費が支給されています。一般財源化の額と従来からの措置費の間に大きな金額の乖離が生じ、少なくなって今後も減少傾向に行くと伺っております。国の諮問機関などの答申の中でも、民にできるものは民にお願いし、行政はできるだけ効率的にスリムに、しかも公でなければできない分野に集中してやるべきでないのかと言われてきました。その一環の措置と理解しています。

そのようななか、我々としましても町の運営を総合的に考え、教育から福祉まで全て考えるなかでの行財政改革の一環として、民にできることであれば民に移管すべきでないかという基本的な考え方で、まず平成十八年度に役所部内で、保育所の先生や担当部局を含めていわゆる民営化に資するための資料を収集し、併せてそのメリット、デメリットについて事務局部内で検討を行いました。十九年度は町内外の有識者の皆さんにお願いいたしまして、民営化の是非の議論をいただきたいと考えております。

私としましては、できるだけ保護者の皆さんや関係者の方々にもご出席いただくと同時に、この議論は幅広く、その審議会なり検討委員会のご理解がいただければ、できるだけ議論は公開すべきと考えています。そういうなかで住民の皆さんのできるだけの意思を受け止めながら方向なり決定をし、それに従って今後の進め方、方向を定めたいと考えております。

一般質問 Q&A

中学校旧体育館の使用について

大松喜次郎 議員

Q 耐力度調査で危険改築となった旧体育館を耐震補強してまで、継続使用するようになっています。そこで、使用目的・耐用年数・中学校との区画・便所や駐車場についてはどうか。

A 谷川教育次長

使用目的は、案の段階ですが総合型地域スポーツクラブや社会体育としての一般開放、また医療費の抑制を図るための健康づくり事業などを考えています。耐用年数については専門家によりますとメンテナンスを施せば約三十年と聞いております。中学校との区画についてはフェンスあるいは植栽といったものを検討中です。トイレについては中学校北側の校舎一階にございますので、そちらを利用していただきたいと考えております。また、駐車場につきましては、現在、中学校の近くに個人用地を御借りしており、そこを利用していただきたいと考えております。

Q 介護保険について

県下一介護保険料が高いのはどうしてか。去年から介護予防に力をいれるようになりましたが、どのような介護予防をし、予防対価はありましたか。充分に考えて成果を出してもらいたい。

A 亀井保健福祉課長

介護保険料が県下一高い理由ですが、介護給付費にかかる金額の一部を保険料で賄っており、介護サービスを受ければそれだけ保険料が高くなります。また、介護給付費の支払のために借入金があり、その借入金を平成十八年度から二十年度までの三年間で返済するために保険料に上乗せされたためであります。介護予防につきましては運動機能向上のための健康づくり教室や介護予防教室を行なっております。また、それ以外にも健康づくりの推進事業や訪問介護型介護予防事業などに取り組んでおります。

予防対価があったかどうかについては、予防事業は、直ちに効果があらわれるものではございませんので、現段階ではその費用対効果があったかどうか即断できない状況であります。

投票率を上げる対策について伺いたい

西本弘子 議員

Q 特に投票率の低い新都市内では、サポートセンターや香川短大など、投票所を増やす必要があるのではないか。また、商店街の活性化にもつながる「選挙セール」を取り入れてみてはどうか？

A 中尾総務課長

投票率向上の対策についてお答えいたします。

投票所の配置等々の問題につきましては、選挙管理委員会はもとより、町内の有識者の方々を中心とする検討委員会を早急に立上げさせていただきたいと考えておりまして、投票所の配置問題や現在の投票所の抱えている諸問題等々を十分分析し、配置計画について、検討委員会の中で議論させていただきたいと考えています。また、投票に行こうとする誘引策については、何か新たな取組を展開する必要があるということにつきましては同感でございまして、御提言の内容を含めて検討していきたいと考えております。

Q 北小周辺の土地の取得について。

北小では相変わらず教室が足りず、図書室もない。今後の増築のことも考えて、現在周辺に適当な土地があるので、取得してはどうか。

A 藤原学校教育課長

北小学校の周辺の土地の取得についてお答えいたします。

北小学校におきましては児童数が増加傾向にありまして、普通教室は確保しておりますが、特別教室や小人数教室に使用するスペースが不足しております。教育委員会では、まず校区修正で対応すべく検討を行っているところではございますが、教室不足の解消策の一つとして、増築のための土地の取得についても協議の中の御提案の一つとして、検討させていただきたいと思います。

一般質問 Q&A

住民の足の確保にデマンド交通システムの導入を

谷川俊博 議員

Q デマンド交通システム導入について

路線バスが廃止になり、自家用車を運転が出来ない方々は大変困っています。コミニュティバスの運行が難しいならば、タクシー会社や自治体のワゴン車等を乗合で利用し、予約・配車・運行を一元的に管理することで、低コスト・低料金を実現する、デマンド交通システムの導入を

A 谷川町長

町内巡回バスや御指摘のドア・ツー・ドアが基本のデマンド交通システムについては、住民の方々の利便性や財政負担等の問題、かつ、交通弱者を福祉という観点から限定的にとらえますと、現在、本町で実施している福祉タクシーの施策が議員のおっしゃる目的に限りなく近いものと考えております。

Q 地域ごとに高齢者ふれあいサロンの設置を

ひとり暮らしや高齢者のみの世帯、家に閉じこもりがちな、高齢者が増加しております。高齢者の皆さんが、住み慣れた場所で、健康で元気に暮らせるように、老人の生きがの場として、気軽に立ち寄り、話が出来る、ふれあいサロンを身近な場所に設置を

A 亀井保健福祉課長

現在、社会福祉協議会において、高齢者の方々だけでなく障害者や子育て中の保護者の方々などが気軽に集まり、仲間づくりができる活動として『ふれあい・いきいきサロン』を実施しております。十団体百七十六人の方々が参加しており、同協議会から各団体に年間二万円の助成をしております。また地域包括支援センターにおいても、定期的に介護予防を目的とした健康体操を実施している四団体に対し、月一回講師を派遣しております。

なぜ遅れているのか？『地域総合型スポーツクラブの創設』

香川虎生 議員

Q 旧中学校体育館の有効活用を？

A 谷川教育次長

取り組みが遅れた要因に、スポーツ団体との連携、活動拠点の確保、指導者の育成などがあります。今年度には、大学教授や地域総合型スポーツクラブマネージャーなどの専門家にご参画いただき、住民主導型の地域総合型スポーツクラブ創設に向けての検討委員会を設置し、同クラブが創設できるかなどの協議を行いたいと考えております。

旧中学校体育館については、八月末に耐震補強工事の実施設計が完了する予定です。工事完了後は、総合型地域スポーツクラブの活動拠点と位置付け、子どもからおとなまで誰もが参画でき、スポーツや文化活動に親しめる場として、かつ、福祉事業も含めた一般開放を考えております。

Q 税金の使い道の開示について

予算書、決算書などを誰でも簡単に見ることができる「閲覧コーナー」を設けては。

A 谷川町長

基本的に行政は、住民の方々が苦労して働いて納付いただいた税金によって運営をいたしております。今後の町の発展や現状への諸課題に対処していくためにも、税金をより効率的に無駄なく充当できるよう行政改革を実施しております。

A 谷川税務課長

今年度は、定率減税の全廃や三位一体の改革の一環として所得税から個人住民税への税源移譲が実施されております。国や県では、新聞・テレビなどのマスメディアを通じて、今回の税改正の内容が報道されており、町では、住民の方々に正しく御理解をいただくためにホームページの活用、広報紙への掲載、納税通知書にチラシを同封するなどの方法で周知しております。

A 中尾総務課長

予算・決算の内容は、住民の方々に時宜を得て広報紙やホームページでお知らせしております。住民の方々に内容を分かりやすくするため、写真や図表を用いることについて検討します。また、予算書や決算書は、以前から総務課において閲覧できるようにいたしておりますが、御指摘の閲覧場所の増設や内容については、他市町の状況も参考にしながら検討します。

一般質問 Q&A

宇多津交番の移転について

池田弘昌 議員

Q 移転時期はいつごろになり、移転場所はどこですか。交番の機能は強化されるのですか。

A 谷川町長

県の平成十九年度予算で宇多津派出所の移転の予算措置がなされました。時期的には十九年度中と考えられますが、できるだけ早く建ててもらうように要望してまいります。移転場所は、ＪＲ宇多津駅の北側です。また、警察官の増員も要望しています。

移転及び増員をすることで、治安の悪化を防ぐと同時に、さらに治安が回復された良い町をつくっていきたいと考えています。

交番建設予定地周辺

Q 地球温暖化の対策について

温暖化が進んでいる中、エアコンの温度1度上げるとか、生活排水を打ち水に使うとか、井戸水等の利用を呼びかけ少しでも温暖化防止を町民全体に呼びかけてはどうか。

A 西山住民生活課長

地球温暖化対策についてですが、平成十八年三月に、県において地球温暖化推進計画が定められており、その中で個人、事業所、それぞれの範囲のなかで取り組んでいくということになっております。また、その計画により、それぞれの市町で温暖化防止活動推進員が県知事より委嘱されています。そういうことで、県と推進員の方とともに広報等での啓発を進めていきたいと考えています。なお、今年の秋に両小学校において、その推進員の方により、地球温暖化対策についての授業を実施する予定となっています。

コンパクトシティ宇多津の実現にむけて

藍川佳津樹 議員

Q 歩行者、自転車に安全な道づくり

環境に優しいコンパクトシティの、町なかの交通は徒歩、自転車が主役。安全対策として、自転車レーンの明確化と、町の品格をおとしめているＪＲ駅周辺の駐輪場対策について。

A 谷川町長

道づくり委員会の会合の積み重ねのなかで出た答えは、生活者重視の道をつくるべきということであり、道はできるだけそこを通る人の安全が確保され、できれば子どもがかつて道で遊んで安全であったような道にしたい…そういうような、お年寄りや住んでいる人たち、子どもに安全な道が本来の旧市街地における道ではないかという御提言がありました。したがって、それに沿うような形で現在、道づくりをさせていただいております。

駐輪場の件については、これは一つは品格にかかわることと思います。住民がお互いに品格を持つ、それは何でつくるのかというと住民がわが町を誇りに思う町にすればよいのではないか、その役割と仕事は我々に課せられている課題と思っています。御提言の駐輪場につきましては、具体的に対応策を考えていきたいと思っています。

Q ボランティアタクシーの運行

脱車社会で残される問題は交通弱者対策。わが町には青色パトカーがボランティアで運行されているという、全国唯一の素晴らしい制度がある。これをタクシー制度にまで拡張してはどうか。

A 谷川町長

ボランティアタクシーの件については、少し研究をさせていただきたい。これを実行するのにどのような問題点があるのか、例えば事故が起きた場合などの問題も問題によっては出てくる可能性がありますから、そういうことも重々検討しながら、どうすればいいか考えなくてはならないと思っております。御提言としてお伺いしておきたいと思います。

一般質問 Q&A

問われる町長の政治姿勢について

Q 谷川町長は昨年末、敬老祝金を630万円に半減、各種団体への補助金を10％削減しながら自らの町長交際費は25％アップの250万円とし、その理由を冠婚葬祭やイベント行事等に支出すると述べました。丸亀市は市長交際費を33％ダウンの200万円とし、市長報酬も20％カットし77万円としましたが、谷川町長の報酬は81万円と4万円も高い状態です。ゴミ収集は、同じ角山焼却場を使いながら坂出市は無料、宇多津町は町民から3160万円も徴収しています。また一方で、町長や議員は予算が余ったからと水族館研修を行ったり、水族館誘致に駐車場の用地買収に町税のムダ遣いをしようとしています。町民からも厳しい批判の声が出ていますが町長の考えを伺います。

井原猛雄 議員

A 谷川町長

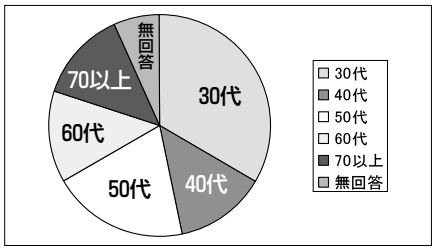
町政をよくするために先進地をみんなが学んで、勉強して、そして反映させるために議員研修の予算を組んでいます。この前も説明いたしました。そういう研修の成果の中から青色パトカーが生まれたのです。議員の皆さんの御提言があって、そういうものを宇多津でも動かしたらどうかという御提言が、あのパトカーにつながったのです。

それ以外にも議員研修に基づいて色々発言がありました。我々は取り入れられるものは一緒になってやっていきます。

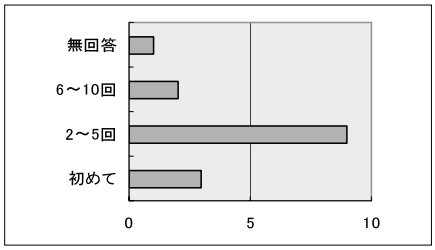
また、水族館の駐車場を作るのに町がお金を出してというお話は、今何もお金を出して買っていません。

日曜議会アンケート調査報告

6月10日に日曜議会が開かれました。最近は、傍聴者の中に比較的若い方も見受けられるようになってきました。自分の町の方針を明らかにする大切な議会です。次回はぜひ、皆さんも、傍聴にいらしてください。



年齢別グラフ



傍聴回数

議員の一般質問の内容について

- 遅刻して来る議員がいるのはどうかと思う。
- 再質問の詰めが甘い。答弁を断るなどの矛盾があった。
- 議員としてベテラン、新人は関係ない。住民の代表としてもっと自信を持ってほしい。
- 要点を絞って質問すれば、もう少し短くなると思う。

行政（理事者）側の答弁について

- 以前に比べて、町長の答弁はわかりやすい。
- 答弁がわかりにくい。具体性に掛ける。（4名）
- 答弁側の町の職員が寝ているように見えた。

その他

- 子連れでも聴けるように、庁舎内や4階のロビーで、議会のようすをモニターで映し出してほしい。（2名）
- クールビズといいながら、冷房が効いていた。町職員や議員がクールビズになっていない。（4名）
- ケーブルテレビで、放送してほしい。

研修報告

総務民生、建設教育両常任委員会合同で行政視察に

品川区小中一貫教育について

平成18年4月より日野学園が開校
小中一貫教育の目指すもの

○小・中学校共通の学力観、指導観で学力の定着・向上
○社会の一員として必要な教養、自らの人生観を構築する基礎の定着
○均一性・平等性重視の教育から、個々の個性・能力を伸ばす柔軟な教育への転換
○公立学校の活性化と質の向上を目指した特色ある教育活動の展開

内容について

○9年間を4―3―2のまとまりで4年生までは学級担任制をとり基礎・基本の定着を図る学習（4―3―2制は宇多津町も同じ）
○後の5年間は教科担任制をとり個性・能力（適正）の伸長を図る学習
○8年生、9年生では自学自習を重視

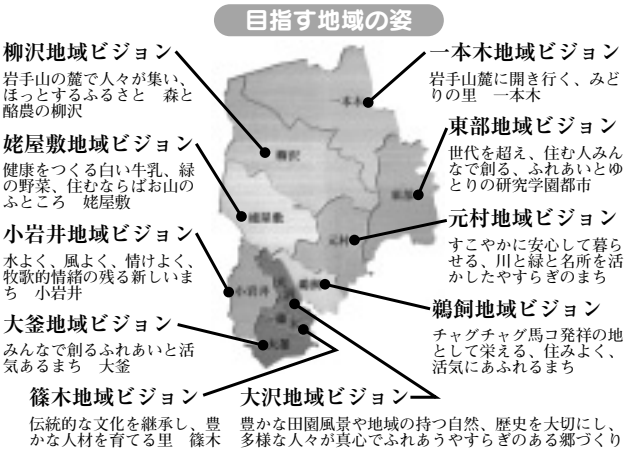
特色について

○市民科の創設　道徳、特別活動（学級活動）、総合的な学習の時間などを取り、自らの在り方や生き方を自覚し、生きる筋道を見付ける人生観の構築
○1年生からの実践的コミュニケーション能力を養う英語科の創設やステップアップ学習などの取り組み
○品川区独自の教材（ティーチャーズ　リソース　ブック）の作成
　独自の「教科書」や「副教科書」などの作成（先生が独自に教科書を作り検定も受けている。先生も大変、これには驚き）

　3年後には幼保小中一貫学校を開校予定である。宇多津町においても幼保小中一貫教育マスタープランが今年度より開始された。一歩先を行く品川区の今後の取り組みが楽しみであり、注目していきたい。

岩手県　滝沢村総合計画

　滝沢村は人口52916人の人口日本一の村として、日本全国に知れ渡る有名な村であり、また、まちづくりの取り組みにおいても全国に先駆けて住民主体のまちづくりをしております。これまでの常識では、もはや解決できない諸問題が発生している今日、今までのように行政が主体となって地域づくりを進めていくことに限界があるとし、地域のみんな、例えば、住民、自治会、各種団体、NPO、企業などが率先して、地域づくりを進めていくことが必要、そのためには、地域で生活し、活動している様々な人々がそれぞれの価値観の違いを踏まえながらも合意形成を図り、地域のビジョンや課題を共有して、地域経営の観点で地域づくりが不可欠とのことで、「地域は、地域のみんなでつくる」を合言葉に、平成12年に地域住民が主体となってまとめ25年後の地域の将来像である「滝沢地域デザイン」を地域全体で具体化していくため、平成17年からの10年間で達成見込みのある項目を抽出、住民と行政の役割分担を明確にし、村内を10エリアに分けて地域ビジョンを住民主体で策定されまちづくりに取り組んでいます。



自治体総合フェア

　東京都お台場の東京ビッグサイトとで行われていた、自治体総合フェア2007・介護フェア2007・省エネ&リサイクルフェア2007を視察しました。会場内は自治体総合フェアゾーン、介護フェアゾーン、省エネ&リサイクルフェアゾーンに分けられ、自治体総合フェアゾーンにおいては危機管理・まちづくり・電子自治体等のゾーンとなっており、公民協働でつくる安全・安心な社会をテーマとし、また、介護フェアは住み慣れた地域や自宅で自分らしく尊厳を保持し、健康に暮らし続けたいという高齢者の思いや、要介護者・介護者双方への支援体制を築くために地域介護・在宅介護・介護予防・健康増進の連携と推進、省エネ&リサイクルフェアは地球環境にやさしく持続可能な地域づくりに寄与すること等を目的に開催されました。震災時の備蓄食料品、火災時の応急消火の機材、介護用品、介護予防の商品等が展示されたり、それぞれのフォーラムが開かれました。

早稲田商店会活性化策

　以下の取り組みなどを行い「商店街の活性化」や「町おこし」をしている。

①リサイクル、環境イベントの開催

　空き缶、ペットボトルの回収機を設置し、商店会のサービス券を景品として配ったりイベントを行うなど。

②選挙セール

　選挙に行った方には当店で○○をサービス。

　投票所で受け取れる「投票済証」を示せば一品サービス。

　投票率を上げるとともに、投票帰りに商店街に寄ってもらう。

　これらの取り組みを行っている。特に投票率の低い宇多津町ではユニークな②をやってみては？

議会日誌

6月

4日　全員協議会
7日　第2回定例会開会
10日　一般質問（日曜議会）
11日　合同委員会
　　総務民生委員会
12日　建設教育委員会
13日　全員協議会
　　定例会閉会

7月

5日　議員総会
10日～12日　総務民生・建設教育委員会研修
19日　総務民生委員会
　　建設教育委員会
30日　香川県広報発行協議会連絡協議会
　　定例会

表紙の言葉

宇多津幼稚園

7月7日は七夕の日宇多津幼稚園でも少し早いですが、4日に七夕まつりを行いました。

子ども達は、自分の夢や思いを込めた短冊を大きな笹につるしました。

「野球選手」「ケーキ屋さん」「花屋さん」になれますように「なわとびが100回とべますように」「げんきにたくさんあそべますように」子ども達がいつまでも夢を語り、その夢がかたちに出来る町になるよう全力で町づくりに取り組んでまいります。

開かれた議会を目指して

宇多津町議会では、議会活性化のために、様々な取組みをしています。

- 定例議員総会（毎月第1火曜日）
- 日曜議会・夜間議会などの開催
- 『議会だより』の作成･発行(年4回)
- 各委員会による調査・研究など

ご 意 見 等 は 議 会 へ

編集後記

夏場の水不足が大変心配されたが、台風4号の影響で早明浦ダムも1日で満水となった。宇多津町では被害もなく、まさしく「恵みの雨」となった。当面は大丈夫だが、節水には今後ともご協力を。新潟でまた大きな地震があった。3年前を思い出される。3月の能登半島地震といい、日本海側に大きな地震が頻繁におきている。四国では南海地震が心配されるが新潟の教訓を受け地震、災害などに関して危機管理体制を更に整えていかなければならないと思う。「台風」と「地震」2つの大きな自然現象が数日で起こった。自然災害等の比較的少ない宇多津町だが非常時の対応を常に考え、地域力を育て、さらに住みよい安全な宇多津町を目指していかなければと思う。（T・K）

議会広報特別委員

西本弘子委員　大松喜次郎委員　宮本　隆 委員
平田弘次副委員長　青木義勝議長　香川虎生委員長

この冊子は再生紙を使用しています